

北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会
会長 黒澤 敏行
事務局長 渡部 浩士
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>
印刷所 ㈱ 有 伸 商 会
TEL (011)814-6211

第30回 読書感想画中央コンクール 第6回 全道コンクール 審査終了

第30回読書感想画中央コンクール・第6回読書感想画全道コンクールの審査が、1月5日(土)、毎日新聞社北海道支社で行われました。今年も750点を超える作品が応募されました。小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の4部門それぞれから最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞の作品が選ばれました。

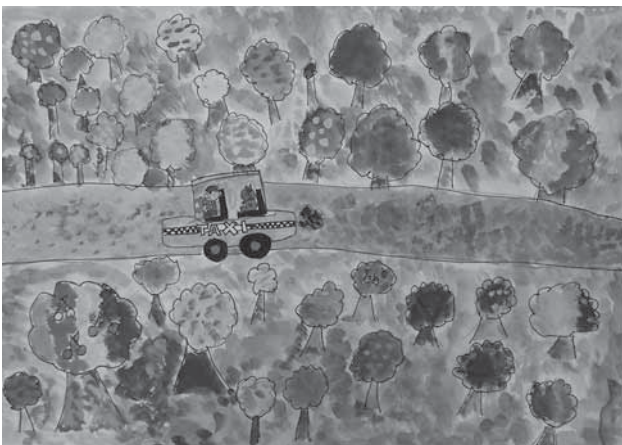
最優秀賞



「キツネのとうふ」 登別市立幌別東小学校3年
『とうふやのかんこちゃん』福音館書店 成澤 結紀乃
(吉田道子/文 小林 糸/絵)



「本の呪い」 東川町立東川中学校2年
『番外編 忘れていた怪談 闇の本』ポプラ社 山浦 小雪
(緑川聖司・後藤正夫・林 利紗・竹岡美穂/作)



「空色のタクシーとにじの林」 札幌市立上白石小学校4年
『山ねこ おことわり』ポプラ社 糸川 想羅
(あまんきみこ/作 北田卓史/絵)



「祈り」 札幌光星高等学校2年
加藤 ひより
『チガサキ 消えたもう一つの「原爆ドーム」』(高瀬 毅/著
平凡社/文春文庫)

最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

《最優秀賞》

| | | | | |
|---------------|------------|----|----|-----|
| ※キツネのとうふ | 登別市立幌別東小学校 | 3年 | 成澤 | 結紀乃 |
| ※空色のタクシーとにじの林 | 札幌市立上白石小学校 | 4年 | 糸川 | 想羅 |
| ※本の呪い | 東川町立東川中学校 | 2年 | 山浦 | 小雪 |
| ※祈り | 札幌光星高等学校 | 2年 | 加藤 | ひより |

《優秀賞》

| | | | | |
|-------------------|------------|----|----|-----|
| ※みんなで楽しく読書会しましょう。 | 釧路市立鳥取小学校 | 2年 | 岩田 | 知怜 |
| ※999ひきのおひっこし | 函館市立本通小学校 | 1年 | 竹中 | 爽悟 |
| ※荒れる山 | 函館市立石崎小学校 | 4年 | 濱 | 利光 |
| 人間の手にされた子ぎつね | 札幌市立北園小学校 | 4年 | 生熊 | みのり |
| ※燦然 | 札幌市立前田北中学校 | 2年 | 鹿又 | 愛唯 |
| ベビー服に思いを込めて | 札幌市立簾舞中学校 | 2年 | 伊田 | 紗雪 |
| ※制服の呪い | 北海道札幌北高等学校 | 2年 | 竹達 | 望結 |

《優良賞》

| | | | | |
|------------------|--------------|----|----|-----|
| ※幸せのまくら | 登別市立幌別東小学校 | 3年 | 成澤 | 結紀乃 |
| うみたちのせかい | 札幌市立上白石小学校 | 1年 | 宮澤 | 成希 |
| 小鳥をさがしているコケッコーさん | 函館市立本通小学校 | 2年 | 菅原 | 葵 |
| ルナとともだちになったとこ… | 札幌市立本郷小学校 | 1年 | 船木 | 灯子 |
| もどってきたゴロスケー家 | 函館市立桔梗小学校 | 5年 | 佐藤 | 莉子 |
| 池の主 | 函館市立石崎小学校 | 6年 | 畠山 | 涼 |
| 夢みる銀杏堂 | 函館市立桔梗小学校 | 5年 | 佐藤 | 莉子 |
| ただいまお母さん | 札幌市立北園小学校 | 4年 | 前澤 | 拓海 |
| 私達の思い出 | 枝幸町立枝幸中学校 | 2年 | 廣瀬 | 愛華 |
| ニホンブンレツ | 小樽市立北陵中学校 | 2年 | 橋本 | 雅 |
| 愛は惜しみなく与う | 札幌市立藻岩中学校 | 1年 | 辻 | ひより |
| 心にふれる。 | 東川町立東川中学校 | 3年 | 植村 | まなつ |
| 想い人 | 札幌聖心女子学院高等学校 | 1年 | 須藤 | みな |

《学校賞》

- 小学校の部 札幌市立上白石小学校 ○中学校の部 東川町立東川中学校
- 高等学校の部 該当校なし

※=全国行き作品

第30回読書感想画中央コンクール・第6回全道コンクール [総評]

絵画～言葉を越えた形～で表現する感動

北海道造形教育連盟 会長 **森長弘美**
(札幌市立前田北中学校 校長)

中央コンクールが記念の30回を迎えた今年、6回目となる全道コンクールには766点の応募がありました。昨年に比べて出品数は100点ほど少なくなりましたが、審査会場に並べられた作品はこれまでと変わらず子どもたちの思いが伝わる力作ばかりで、このような質の高い作品が応募される背景には、本コンクールが全道の子どもの興味をかき立てるものであり、保護者の皆様や学校関係者の皆様の理解と強い支持があることが分かります。主催する学校図書館協議会と毎日新聞社には、児童・生徒の読書活動を高める本事業への熱意ある取組に心より敬意を表します。

審査会では、子どもたちの発達段階を考慮しながら、小1から高3までを3つのブロックに分けて選考しました。小学校低学年（1～3年）では、読んだお話の中から好きな場面を選び、自分がお話の世界に入ったり、イメージを膨らませてお話を展開させたりするなど、楽しそうに制作する姿が見えました。

また、小学校高学年（4～6年）では、物語の主題を的確にとらえ、楽しい・悲しい・恐ろしいなどの場面や登場人物の気持ちが伝わるような表情など、表現方法に工夫を加えた作品が見られました。

さらに、中学校・高等学校では、高い技能に加え、物語をしっかりと咀嚼したうえで自分なりの思いを表現しながら画面を構成した作品も見られ、制作者からのメッセージを受け取ることができました。

本を読むことが好きで、物語に心を動かされた子どもたちが、自分の中に湧きあがるものを言葉を越えた形で表現するという創作活動の中で、読後の喜びと作品完成の喜びが重なって、読んだだけでは味わえない深い感動を心に刻み、さらに物語の世界に引き込まれていく姿が審査を通して伝わってきました。

描き上げた満足感が次の読書へ繋がって、さらに世界を広げ、また次の絵画の中に自分を表現する…、これからも、多くの子どもたちにそんな繰り返しがあることを願っています。

奨励賞 受賞者一覧

奨励賞(小低)

| | | | | | | | | |
|---------|----|-------|---------|----|-------|----------------|----|--------|
| 函館市本通小 | 1年 | 木村 悠 | 函館市本通小 | 2年 | 中谷 真彩 | 函館市本通小 | 3年 | 門田 亜采 |
| 函館市本通小 | 1年 | 川村 莉子 | 函館市本通小 | 2年 | 藤山 良輝 | 函館市本通小 | 3年 | 岡 妃真莉 |
| 函館市本通小 | 1年 | 天内 祥悟 | 函館市本通小 | 2年 | 高野 にこ | 函館市石崎小 | 3年 | 小石 月都 |
| 函館市本通小 | 1年 | 秋山 凌佑 | 函館市本通小 | 2年 | 岩館ほのか | 奨励賞(小高) | | |
| 函館市本通小 | 1年 | 千野 佑月 | 函館市本通小 | 2年 | 田中 晴貴 | 函館市本通小 | 4年 | 木村 莉紘 |
| 函館市本通小 | 1年 | 遠藤 七美 | 函館市本通小 | 2年 | 中川 紅愛 | 札幌市北園小 | 4年 | 山下 花音 |
| 函館市本通小 | 1年 | 高松 奏太 | 函館市本通小 | 2年 | 齊藤 愛桜 | 札幌市北園小 | 4年 | 長谷日菜子 |
| 函館市本通小 | 1年 | 山田咲菜実 | 函館市本通小 | 2年 | 福岡良之助 | 札幌市北園小 | 4年 | 依田 紗幸 |
| 函館市本通小 | 1年 | 高谷 未空 | 函館市本通小 | 2年 | 小倉 麗 | 札幌市北園小 | 4年 | 田中 葵 |
| 函館市本通小 | 1年 | 長尾 らら | 函館市本通小 | 2年 | 工藤 理生 | 札幌市北園小 | 4年 | 瀧田 大輝 |
| 函館市本通小 | 1年 | 品澤 玖穂 | 函館市本通小 | 2年 | 齋藤 涼美 | 札幌市北園小 | 4年 | 新澤 聖也 |
| 函館市本通小 | 1年 | 石岡 楓大 | 札幌市北園小 | 3年 | 鈴木 崇太 | 札幌市北園小 | 4年 | 松浦 柊花 |
| 函館市本通小 | 1年 | 安保 咲希 | 札幌市北園小 | 3年 | 多田 美咲 | 札幌市北園小 | 4年 | 麻植 桃奈 |
| 函館市本通小 | 1年 | 藤元 星愛 | 札幌市北園小 | 3年 | 福岡 花菜 | 札幌市上白石小 | 4年 | 佐々木深有 |
| 札幌市上白石小 | 1年 | 舟津 光晴 | 札幌市北園小 | 3年 | 高橋 真叶 | 札幌市上白石小 | 4年 | 花川 里渚 |
| 札幌市上白石小 | 1年 | 前野 心花 | 札幌市北園小 | 3年 | 狩野 春香 | 札幌市上白石小 | 4年 | 児島 実咲 |
| 札幌市上白石小 | 1年 | 後藤 美月 | 札幌市北園小 | 3年 | 南川 聖愛 | 札幌市上白石小 | 4年 | 木村 珠梨 |
| 札幌市上白石小 | 1年 | 富永 結加 | 札幌市北園小 | 3年 | 砂田 優雨 | 札幌市上白石小 | 4年 | 遊佐 哉太 |
| 札幌市上白石小 | 1年 | 武田ありす | 札幌市北園小 | 3年 | 新谷 明陽 | 札幌市上白石小 | 5年 | 菅野 心希 |
| 函館市石崎小 | 1年 | 畠山 潤 | 札幌市北園小 | 3年 | 森川 紗羽 | 札幌市上白石小 | 5年 | 桜田 空斗 |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 藪中 逞 | 北見市常呂小 | 3年 | 森 南帆 | 札幌市上白石小 | 5年 | 金澤 柊音 |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 藪田 利音 | 北見市常呂小 | 3年 | 齊藤 莉矢 | 札幌市上白石小 | 5年 | 高橋壯一郎 |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 石山菜々美 | 北見市常呂小 | 3年 | 金野 航河 | 札幌市上白石小 | 5年 | 宮本 怜奈 |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 谷 康弘 | 札幌市上白石小 | 3年 | 檜山 拓海 | 札幌市上白石小 | 5年 | 清原さくら |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 小岩 秋翔 | 札幌市上白石小 | 3年 | 舟津 碧人 | 札幌市上白石小 | 5年 | 丸山 彩 |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 近藤 想汰 | 札幌市上白石小 | 3年 | 安齊 琴美 | 函館市本通小 | 5年 | 齊藤 乃音 |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 富樫 陽友 | 札幌市白楊小 | 3年 | 高畑 幸奈 | 札幌市上白石小 | 6年 | 吉宮 あい |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 野島 想奈 | 札幌市北園小 | 3年 | 川嶋 彩寧 | 札幌市上白石小 | 6年 | 道下 友貴 |
| 札幌市本郷小 | 1年 | 金澤 蒼志 | 札幌市北園小 | 3年 | 南部 咲桜 | 札幌市上白石小 | 6年 | 荒木 結那 |
| 札幌市山の手小 | 1年 | 志貴 美遥 | 札幌市北園小 | 3年 | 石原あかり | 札幌市上白石小 | 6年 | 鶴ヶ崎はるる |
| 岩内町岩内東小 | 1年 | 熊野琉星翔 | 札幌市北園小 | 3年 | 上野 哲平 | 函館市石崎小 | 6年 | 木村 優希 |
| 岩内町岩内東小 | 1年 | 小澤 琉聖 | 札幌市北園小 | 3年 | 真鍋優梨菜 | 奨励賞(中学) | | |
| 岩内町岩内東小 | 1年 | 鎌田 晃成 | 札幌市北園小 | 3年 | 磯部 拓飛 | 札幌市前田北中 | 2年 | 金子くるみ |
| 札幌市白楊小 | 1年 | 山谷 晁良 | 苫小牧市泉野小 | 3年 | 近藤 芦羽 | 札幌市前田北中 | 1年 | 倉本 亜純 |
| 札幌市白楊小 | 1年 | 太良木心夏 | 苫前町苫前小 | 3年 | 三上 望愛 | 小樽市北陵中 | 1年 | 片岡 珠里 |
| 札幌市円山小 | 2年 | 福川 皓貴 | 苫前町苫前小 | 3年 | 下田かのん | 小樽市北陵中 | 1年 | 江良 胡終 |
| 札幌市白楊小 | 2年 | 川口 里桜 | 苫前町苫前小 | 3年 | 寺林 聖真 | 札幌市北辰中 | 1年 | 山田 夏香 |
| 札幌市上白石小 | 2年 | 青山 美月 | 苫前町苫前小 | 3年 | 石川なつき | | | |
| 札幌市上白石小 | 2年 | 齊藤 春希 | 苫前町苫前小 | 3年 | 小泉明李沙 | | | |
| 札幌市上白石小 | 2年 | 吉田 海咲 | 函館市北星小 | 3年 | 佐々木陽路 | | | |
| 札幌市上白石小 | 2年 | 花輪 碧泉 | 函館市北星小 | 3年 | 高橋 奈々 | | | |
| | | | 函館市北星小 | 3年 | 工藤 瑛大 | | | |



第51回 北海道学校図書館研修講座

日時：2019. 1. 8 会場：かでの2・7

『主体的・対話的で深い学び』と学校図書館

～すべての子どもたちに学ぶ喜びを～

講演：専修大学文学部教授 野口武悟氏

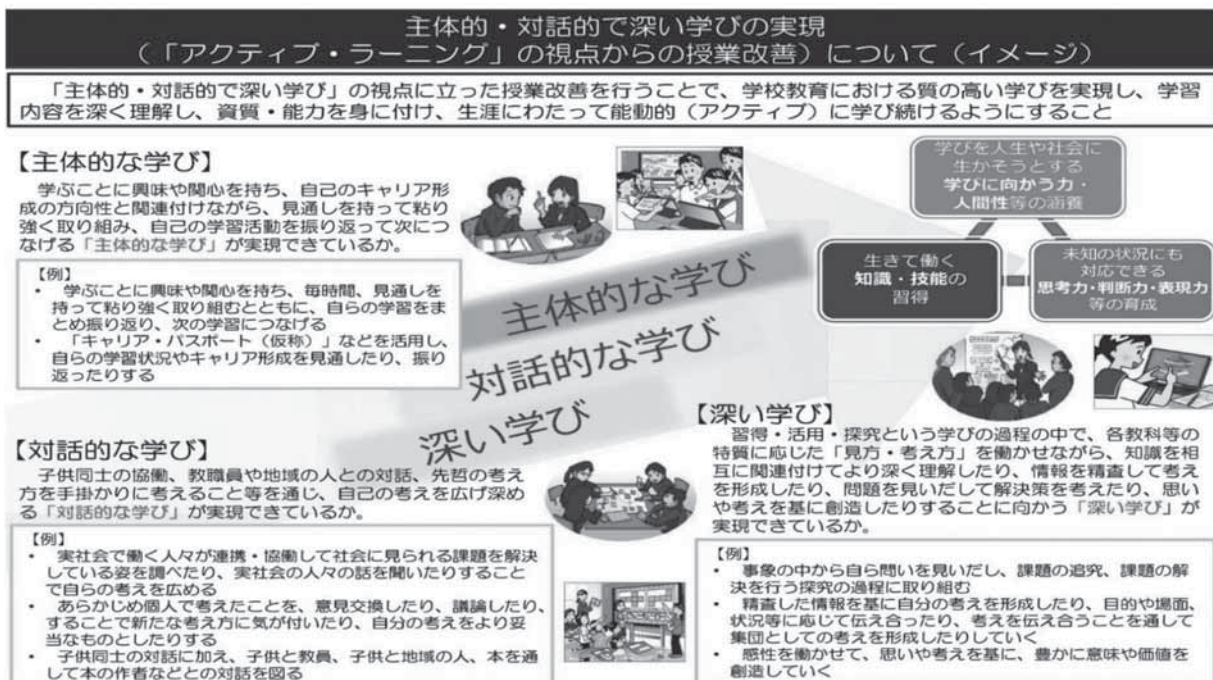
講師紹介 (北海道学校図書館協会 副会長 栗原 靖)

野口武悟氏は筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士課程を修了され、2006年から専修大学に奉職。現在は、専修大学文学部教授でいらっしゃいます。専修大学大学院法学研究科の教授も兼任され、放送大学の客員教授でもあります。また、一般社団法人日本子どもの本研究会会長、公益社団法人全国学校図書館協議会機関誌編集委員会委員長を務められていらっしゃいます。さらに、文部科学省子供の読書活動の推進等に関する調査研究検討委員会委員ほか、東京都や神奈川県、大分県の図書館に関わる重要な役職も歴任されていらっしゃいます。学びを大切に学習指導要領を生かす学校図書館に関わってお伺いできるものとご講演をお願いいたしました。

研修講座の基調となる、専修大学文学部 野口武悟 教授のご講演は、これからの教育を展望し学校図書館の目指す方向性について考える上で、たいへん密度の濃い内容でした。

1. 「主体的・対話的で深い学び」とは

新しい学習指導要領では総則において (7) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。と明示されています。学習指導要領に示された授業改善の一つの方策として学校図書館の利活用が改めて示されたことは、学校教育における学校図書館の必要性がさらに高まっているという思いを強くします。以下のような図が提示されました。



2. 「主体的・対話的で深い学び」の実現と学校図書館

(1) 環境づくり

野口先生曰く、「読書センター」であるとともに「学習センター」「情報センター」としての機能を高めることが重要であるとのこと。学校図書館全体計画を策定し、計画的・組織的に運営していく大切さが説かれました。蔵書構成や資料提供などにおいて、学習の場としてよりよい環境づくりが必要だと思いました。

(2) 情報活用能力(図書館利用スキルを含む)の育成

ガイドラインにも示された通り、情報活用能力を体系的に育成する計画を立案すべきと感じました。AI社会に生きていく子どもたちに「どのように情報を活用するのか」を学ばせる場が学校図書館なのだと感じました。

(3) 読む力の涵養

読む力は、すべての学びの基礎。今まで理解力不足と評価されていた子どもたちも、単に読む力の不足だったのかもしれないという説明が印象的でした。ディスレクシアの児童生徒をはじめ、すべての子どもたちの読む力を高め支援し、知る喜びを感じさせることも私たちの使命だと思いました。

学校図書館の本質的な意義を改めて認識できました。野口先生、本当にありがとうございました。

(北海道学校図書館協会 事務局長 渡部 浩 士(札幌市立稲積中学校 校長))

■第51回 北海道学校図書館研修講座に参加して 図書資料を活かす

苫小牧市立澄川小学校 教諭 高 取 有 子

校種別選択講座の小学校「図書館資料の活用とその指導」で、発表の機会をいただき感謝申し上げます。

「実践」とすべきか、「提言」とすべきか悩みましたが、「実践」として①総合・調べ学習での資料の活用、②3年「ちいちゃんのかげおくり」での実践、③5年「百年後のふるさとを守る」での実践を柱に発表しました。

現勤務校での研修テーマである『並行読書を取り入れた国語の授業』について、いかに並行読書を充実させた上で、全職員に図書資料を活用してもらえるのか？について実践に基づき発表しました。

現場では図書の充実や各種アプローチを行ったとしても、いかんせん「活用すればより児童生徒に力をつくのがわかっているけど…」との職員からの声も多く、日々の忙しさから利活用促進に向けたハードルは高いのが実情です。

ゆえに、いかに司書教諭と学校司書が全職員に積極的に、より実践的なアプローチで働きかけられるかが重要だと感じています。

先に受講した選択講座の「選書」では「既存の図書資料を活かす」という言葉に強く共感しました。いくら担当が熱心に準備をしても使い方がわからなければ学校図書館の資料も空間も無駄になってしまいます。各担任が図書資料を活用する場面を設定し、それに合わせた資料の提供は授業づくりの裏方ではありますが、重要な役割だと自負しています。このような実践的なアプローチこそが、図書活用の早道であると、主観ながら思った次第です。

新学習指導要領では、読書活動を通してより豊かな心の育成を目指すだけでなく、メディアとの付き合い方が今後課題となってきますが、過去の諸先輩方が築いた学校図書館の在り方をさらに発展させるために、今回の研修講座で学んだことを実践し、校内へ還元していきたいと思えます。

支部だより ～苫小牧支部

苫小牧学校図書館協会は、7回の定例部会と各種研修会の開催、読書感想文・読書感想画コンクールや調べる学習コンクールの審査など、活発に活動をしています。夏休みに行った「学校図書館研修会」では、講師として恵庭市立恵明中学校の学校司書 小川里恵子さんをお招きし、『学校司書と学校図書館の連携』について講演していただきました。研修会には、部会員はもとより市内の学校司書の方々の参加も多数あり、充実した研修になりました。

苫小牧市立中央図書館との連携も盛んです。9月の定例部会では、中央図書館の司書の方を講師にして「ブックトーク」についての研修を中央図書館で行いました。ブックトークの基本や、授業で手軽に実践できそうな5分から10分でできるブックトークを実演してもらいました。大変分かりやすいお話で、さらに、国語の授業での並行読書に向けて、子どもたちが自分の読む本を選ぶ際の参考になるようなブックトークを実際に見ることができて、より実践的な研修となりました。

また、苫小牧学校図書館協会では、6月頃と1月頃の年2回、市内の主に小学校に組織されている学校図書館ボランティアの方々を対象にした「学校図書館ボランティア連絡会」を開催しています。今年1月の連絡会では、苫小牧市立中央図書館で本の修理をしている団体「ルリユール」のみなさんを講師に「本の修理講習会」を行いました。参加される図書ボランティアさんは、自校の学校図書館にある傷んだ本を持ち寄り、専門的な本の修理を教してもらいました。毎年大変好評で、何度も参加されている図書ボランティアさんもいて、全体的に修理の技術がレベルアップしていました。



学校図書館ボランティア連絡会での本の修理

苫小牧学校図書館協会の今後の課題は、現在少ない中学校の教員の部会員を増やしていくことです。今年度は、沼ノ端中学校の教員が中学校1年生の国語の授業で「学び方の指導」の研究授業を行いました。これを契機に中学校の教員の部会員も増やして、小学校・中学校の両方の活動を充実させていきたいと思えます。

(文責：苫小牧学校図書館協会事務局長 苫小牧市立明德小学校 教諭 鈴木祐亮)

■第51回北海道学校図書館研修講座に参加して**生徒の心を育む特別支援学校での図書館活動**

北海道小樽高等支援学校 学校図書館司書 小野 薫

毎年、この研修会に参加すると「さあ、今年もはじまるぞ」と、しゃんと背筋が伸びる気がします。諸先生の講義の中から「今年はこのことができるかもしれない」と、私の新年度の図書館運営目標が見つかるのもこの研修中です。

学校図書館は「ひと」がいてこそ動き始めるところ。1人では何もできない事を忘れずに、不器用ながら協働者を増やしていくことを忘れずにやってきました。準備して開館して生徒が来て、全校認知されてきてようやく動き始める図書館。生徒が生き活きと活用できるための支援を考えながらいると、今年度は図書局の活動が活発になりました。

三日目の特別支援討議のコマで本校の図書館を活用した生徒の活動を紹介させていただき、読書からの学びはもちろんのこと、学校図書館そのものが特別支援学校の生徒の心を育てる大切な場所ということが少しでも広がっていけばと思います。例年この研修会には小・中学校の特別支援学級担当の先生方はたくさん参加されているのに比べ、特別高等支援学校の方の参加が少ないことが気がかりです。講演された専修大学の野口先生のお話にもありましたように「すべての子どもたちに学ぶ喜びを」支えていく私たちだからこそ、小・中から高校へと学校図書館の繋がりを途切れることなく構築していきたいと感じます。

道内に毎年のように新設されている高等支援学校、「その学校の図書館は動いているのか？」この研修会に育てられてきた私としては、来年こそたくさんの高等支援学校の先生方と情報を持ち合い、繋がり、生徒の成長のための図書館づくりを切磋琢磨しながら道内で広げていきたいと考えてやみません。

■第51回北海道学校図書館研修講座に参加して**一人で頑張らないで**

網走市学校図書館司書 浜田 冴子

自分一人ではどうしようもないと思えたことでも、人や知識とつながることで大きく進められた時の喜びは大きい。皆さんにそんな経験はないだろうか。自分が抱いた悩みや疑問、課題に対して答えを模索し、それに応える人や資料に出会うことで解決する。そういった学びの繰り返しで人は生きている。私は今回初めて本講座を受講させていただき、そんな学びの喜びを感じた。

野口武悟教授のご講演では、学校図書館をとりまく現状や展望をわかりやすく提示していただいた。学校現場で、学校図書館や学校教育に抱く理想は自分以外の人々と正しく共有しないと形にしていくことはできない。自分の想いを正確に言語化すること、そして誰にでも根拠のある提案ができることの必要性を日々感じているが、今回はそのための貴重な材料をいただいたように思う。

また、講演の主題でもあった「主体的・対話的で深い学び」に人は欠かせない。知りたい時に適切な知識（資料）とつないでくれる人。また、学びを共有する相手、お互いを肯定し高め合う相手。選択講座では、そのように人とつながる有意義さを感じる講座ばかりだった。学校図書館で資料を探し、レポートを作成する講座では、生徒のつまずきそうなポイントや知を探求する面白さをあらためて感じる事ができた。読書会の講座では、参加者それぞれが一つの話から読みとった解釈や考えを交流し、それを読書ボードとして目に見える形にしていく面白さや、話し合うことでより感想が深まっていく実感があった。学校司書の状況交流では、地域によって異なる雇用が現状の学校司書が集まることで、新たな視点をいただくと同時に励みにもなった。校種別討議では、まだまだ話を聞き足りないと感じるほどに、参加者の想いが溢れていたと思う。全体を通して、人とつながり学ぶ楽しさをあらためて感じた3日間だった。

講座を終えて網走市に戻り、「学校図書館で次は何をしよう？」とわくわくしながらこの文章を書かせていただいている。貴重な学びの機会をくださった講師の方々、北海道学校図書館協会の皆様に心から感謝したい。

平成30年度 北海道の先生がおすすめする本

北海道指定図書

小学校低学年の部



いろいろ はっぴ

小寺 卓矢 / 写真・文
アリス館 定価1,400円+税
まる、さんかく、ハート…たのしい葉っぱがたくさん登場！ さいごは、みんな枯れて土になり、つぎの葉っぱの準備をするよ。



シマフクロウのぼこ

志茂田 景樹 / 文 木島 誠悟 / 絵
ポプラ社 定価1,380円+税
実在する障害のあるシマフクロウの「ちび」をモデルに、野生動物と人間とが共生するにはどうしたらいいかを考える絵本。



いろいろ いっぱい

ちきゅうの さまざまな いきもの
ニコラ・デイス / 文 エミリー・サットン / 絵
越智 典子 / 訳 ゴブリン書房 定価1,500円+税
地球は生きものであふれていて、そのすべてが(もちろん、わたしたち人間も!)複雑に結びついていることを伝える科学絵本。



あめのひ

サム・アッシャー / 作・絵 吉上 恭太 / 訳
徳間書店 定価1,600円+税
朝からの雨がやつとやんで、おいちやんと出かけると…? 雨を楽しむ気持ちをいかに描く、ファンタジックな絵本。

小学校中学年の部



キワさんのたまご

宇佐美 敦子 / 作 藤原 ヒロコ / 絵
ポプラ社 定価1,200円+税
夏休み、養鶏を営むキワさんに出会ったサトシ。キワさんの「まぼろしのたまご」がほしくなるが…。少年の成長を描く物語。



はたらく

長倉 洋海 / 写真・文
アリス館 定価1,400円+税
山で羊を育てる少年。両親のかわりに市場で野菜を売る少女。世界各地で出会った子どもたちは、助け合い、生きる力にあふれていた。



さらわれたチンパンジー

愛蔵版 野生どうぶつを救え! 本当にあった涙の物語
ジェス・フレンチ / 著 嶋田 香 / 訳
汐文社 定価1,500円+税
赤ちゃんチンパンジーのシノワーズは密猟者に捕まりペット屋台に売られてしまう…。彼が救出され、幸せになるまでを描く感動実話!

小学校高学年の部



幽霊ランナー

岡田 潤 / 作
金の星社 定価1,300円+税
幽霊ランナーと呼ばれる優。人知れず現れる中学生ランナーに指導を受け、走法が変わっていく。そしてマラソン大会がやってくる。



世界を救うパンの缶詰

菅 聖子 / 文 やました こうへい / 絵
ほるぶ出版 定価1,400円+税
阪神淡路大震災の被災者からの声をきっかけに生まれた、3年経ってもおいしい非常食「パンの缶詰」。開発した町のパン屋さんのお話。



あした飛ぶ

東田 澄江 / 作 しんや ゆう子 / 絵
学研 定価1,400円+税
ある日、星乃は、はねに星マークが描かれた蝶をつかまえた。遠い場所に住む二人の気持ちをつなぐものは…。

中学校の部



14歳の世渡り術 栗山魂

栗山 英樹 / 著
河出書房新社 定価1,300円+税
一度たりともあきらめなかった。夢はかなえるためにある。栗山監督が自分の人生を通して伝えたかった努力の大切さ。



ひらけ蘭学のとびら

『解体新書』をつくった杉田玄白と蘭方医たち
鳴海 風 / 著 関屋 敏隆 / 画 岩崎書店 定価1,500円+税
杉田玄白と解体新書を題材にした歴史小説。幼少期から解体新書刊行までの物語。困難を乗り越える大切さを伝えたい。

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

●ホームページ

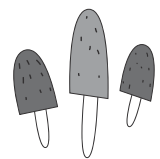
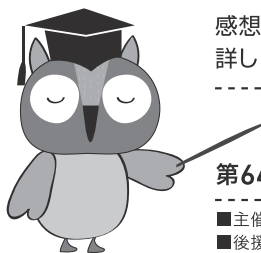
北海道学校図書館協会 検索

北海道の本を読みましょう!

第64回 青少年読書感想文全道コンクール 第44回 北海道指定図書読書感想文コンクール

■主催 / 北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社

■後援 / 北海道・北海道議会・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会 ■選定協力 / 北海道読書推進運動協議会



学校図書館情報

◆2019年度北海道学校図書館協会 定期総会の開催

- ・日時 2019年5月11日(土)
 - ・場所 北海道立道民活動センター (かでの2・7) 1060会議室
札幌市中央区北2条西7丁目
- 支部の総会参加について、ご協力をよろしくお願いたします。

◆全国学校図書館協議会：各県SLA事務局長会議開催

平成31年2月7日(木) 東京の学校図書館センター(公益社団法人全国学校図書館協議会事務局)にて開催され、北海道から会長以下3名が参加しました。

2019年度事業日程、各コンクールの実施概要説明、助成制度についてなど説明がありました。午後からの協議では北海道の研修活動やコンクールの取組について発表しました。

翌8日(金)午前の国会議員への要望訪問では学校図書館の状況改善を強くお願いしてきました。特に道内選出で文部科学大臣政務官の中村裕之衆議院議員はしっかりと受け止めてくださいました。

◆2月8日(金)青少年読書感想文コンクールの全国表彰式がありました。今年は北海道から毎日新聞社賞に苫小牧市立ウトナイ小5年山内颯大さん、北海道遺愛女子高3年館山紋奈さん、サントリー奨励賞に苫小牧市立苫小牧東小1年温井柚稀さんが入選し、山内さんが表彰式に出席しました。おめでとうございます。



著者の関谷敏隆さんと山内颯大さん

◆第60回北海道図書館大会のお知らせ

- ・日時 2019年9月4日(水) 5日(木)
- ・会場 札幌市教育文化会館
- ・参加者 公共図書館・公民館・大学図書館・学校図書館・専門図書館・市町村教育委員会等関係機関の職員・図書館協議会委員・図書館に興味のある方等

北海道学校図書館協会も構成団体の一つである、北海道図書館連絡会議が主催の大会です。北海道の図書館人が一堂に会する、年に一度の大会です。学校図書館関係者の多くのご参加を期待しております。

事務局

事務局長 渡部 浩 士 (札幌市立稲積中学校)
事務局校 札幌市立稲積中学校
〒006-0814 札幌市手稲区前田4条5丁目2-1
TEL 011-684-1430 FAX 011-684-5738

Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメンティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15
TEL (011) 857-3331
FAX (011) 857-5211

◆『新刊紹介』

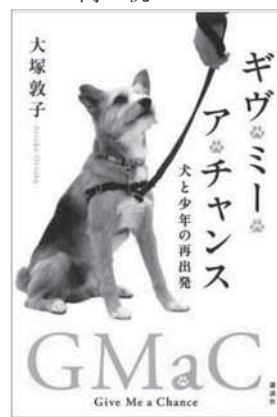
『ギブ・ミー・ア・チャンス 犬と少年の再出発』

大塚 敦子 著・写真

2018年9月13日 講談社 1300円+税

ISBN978-4-06-513000-1

2014年7月、GMaC(ギヴ・ミー・ア・チャンス=ぼくにチャンス)と呼ばれるプログラムが、千葉県にある八街少年院でスタートしました。非行を犯して少年院に送られた少年たちが、動物愛護センターなどに保護された「保護犬」を訓練する。その経験をとおして、一度は社会からドロップアウトした少年たちが、少しずつ変わっていきます。



3か月におよぶプログラムに密着し、少年たちと犬との温かい交流を描く渾身のルポルタージュ! <小学上級・中学から>

◆第43回北海道学校図書館研究大会(旭川大会)のお知らせ

「学びを支え、豊かな人間性を培う学校図書館」

- ・日時 2019年10月4日(金)・5日(土)
- ・会場 旭川市内幼稚園、小学校、中学校、高等学校 旭川勤労者福祉会館、上川教育研修センター (予定)

今年は、全道大会が旭川市内の複数の会場で開催されます。詳細の案内については、新年度に更新されます北海道学校図書館協会のHPで、ご覧ください。

編集後記

節分も過ぎて、暦の上では春となりましたが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。読書感想画全道コンクールも第6回を迎え、たいへん多くの応募をいただきました。来年度もさらに充実したものとなりますよう、関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。

(編集：村山 知成 杉本 操 野村 邦重)
大久保雅人 渡部 浩士

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>